

私のすすめるこの1冊

大戸 光博 (就職・キャリア支援センター 客員教授)

『こころの処方箋』

河合 隼雄 (著)

日本におけるユング派心理学の第一人者である河合隼雄先生が、そのカウンセリングの実践経験をもとに書き綴られたエッセイ集です。私たちがなかなか捉えきれない「こころ」というものを、55項目にわたって独自の視点で書かれています。巻末に「三つの言葉」という題で、作家の谷川俊太郎氏が「私たちは偉い学者の書く難解な言葉に重みがあると考えがちだが、河合さんは大変な学者であるにもかかわらず、万人に『分かる』言葉で語る。」と述べているように、専門的な言葉はほとんどなく、平易な文章ですと「こころ」に入ってきます。そして、誰もが「なるほど、そうだな」とか「たしかに、あるある」と感じる事柄を通して、読み終わった後、自分の「こころ」のあり方が確かに変わっていることが実感できる本です。

私の37年間の小学校教員生活において、大いに役立ちその支えの1つになったのが、教育相談やカウンセリング理論を学んだことです。河合隼雄先生の著作も数多く読みましたが、この本は何度も読み返し、その度に多くの気づきや励ましをもらってきました。あわせて、子ども達への指導や支援の在り方、保護者や地域の方々との接し方、家庭生活の向き合い方やものの見方等々について、自分自身へ問いかける機会となり、進むべき方向性に自信を与えてくれた本でもあります。

数多くのことについて語られていますが、私は

とりわけ次の2点には大きなヒントを得ました。

1つは、「人生にも、ここぞというときがある。それはそれほど回数の多いものではない。とすると、その時に準備も十分にせず、覚悟もきめずに臨むのは、まったく馬鹿げている。ところが案外、そのようなときでも90点も取ればよかろう、という態度で臨む人が多いように思われる。」(p57) 「ここぞというとき100点をとっておけば、それ以外は60点でいいのだ。平均点は80点以下でも、その効果はまるで違ってくるのだ」(p56)ということを知る必要があるということです。

もう1つは、「心の中の勝負は51対49のことが多い」という見方です。これはわずかな差ですが、「しかし、多くの場合、底の方の対立は無意識の中に沈んでしまい、意識されるところでは2対0の勝負のように感じている。サッカーの勝負だと、2対0なら完勝である。従って、意識的には片方が非常に強く主張されるのだが、その実はそれほど一方的ではないのである。」(p71)ということに心を留めて人の言動を捉えていくとよいということです。

こうした見方があることを知ることによって「こころ」にゆとりが生まれ、物事の新たな捉え方ができると思います。これから様々な出来事に出会い数多くの人間関係の中で生きていくみなさんに、ぜひとも手に取っておいてほしい一冊です。

第30回うたとおはなしの会

報告



平井 恭子 (幼児教育科 教授)

平成 30 年 4 月 28 日に第 30 回「うたとおはなしの会」が開催され、親子連れを中心に 172 名の参加者でにぎわった。申込段階では先着 130 名としていたが、申込者が多かったため、今回はじめて 2 回公演を実施した。

幼児教育専攻の学生が制作したパネルシアター「こいのぼりのかぞく」では、こいのぼりのお母さんがお買い物中に子どもの好物を思い浮かべるシーンで、会場から「カレー!」「ハンバーグ」などと声が上がり、子どもたちが積極的に学生とのやりとりを楽しむ様子が見られた。続いて、手遊びうた「ぼんだ・うさぎ・こあら」で遊んだ後、絵本「だるまちゃんとてんぐちゃん」(加古里子/作)の鑑賞では何でも欲しがるだるまちゃんとそれにこたえるお父さんの姿に、親子で顔を見合わせて笑う姿が見られた。

楽器あそびでは、音楽教育専攻の学生によるバス木琴演奏「アルプス一万尺」を聴いたり、子どもたち自身も好きな楽器を選んで、学生と一緒に「もりのくまさん」の演奏に参加するなど、音楽の楽しさを体験できる時間となった。そして毎回人気の人形劇は「おおかみと 7 ひきのこやぎ」が上演された。客席の後ろから狼が登場すると、子どもが驚いて保護者に抱きついたり、こやぎがドアを開けようとする、真剣な表情で「あけちゃだめ」と大きな声を出すなど、物語に入り込んでいる様子が見られた。

そして最後は、4 月に入学したばかりの新生が、会場の子もたちと一緒に「にじのむこうに」を合唱し、会場全体が明るい歌声に包まれて会が終了した。そして終了後に開催した「こいのぼり作りワークショップ」には多くの親子が参加し、出来上がった色とりどりのこいのぼりに紐を通して楽しそうに遊ぶ親子の姿が見られた。参加者からは、「プログラムが多彩で子どもが飽きずに見ていた」「子どもも親も楽しめた。また来たい」など、好評を得た。

「うたとおはなしの会」は今回で 30 回目という節目を迎えるが、これまでこの会に足を運んで下さった多くの参加者、支えて下さった関係者に心から感謝すると同時に、本当にいいものを子どもたちに届けたいという初心を忘れず、今後も努力していきたい。



期間中の 4 月 28 日(土)、「第 30 回うたとおはなしの会」終了後、人形作家：平野利江さんによる **簡単手作りワークショップ「こいのぼりを作ろう」**を開催しました。



**【報告】「うたとおはなしの会」の第30回を記念して
第2回 絵本と人形展**
～おはなしの世界へようこそ！～

(主催) 幼児教育科
(協力) 京都教育大学附属図書館

2018年4月16日(月)～4月28日(土)まで図書館の企画展示室にて開催されました。今回も「うたとおはなしの会」で上演した作品の中から5つのおはなしを選び、「おはなしの世界をもっと身近に感じてもらいたい」という思いで、絵本と人形の展示を行いました。



「てぶくろ」

人形作家：平野利江さんの作品は、ほのぼのとしていて子ども達にも大人気でした！



「ともだちほしいなおおかみくん」



「3びきのこぶた」

国立国会図書館講習会

国立国会図書館関西館より講師の方をお招きして、講習会を実施します。関西館を中心に、国立国会図書館とはどんなところなのか、どのようなサービスがあるのか、などをご紹介いただきます。

この機会にどのようなことができるのかを学んで、有効活用しましょう！

【日時】6月13日(水) 13:00～15:00

(講義：90分、質疑：30分) ※途中参加OK！

【場所】北館2階ラーニングcommons

【講師】大瀧 徹也 氏

(国立国会図書館関西館 文献提供課)

当日参加も可能ですが、席の確保のためできるだけ事前にお知らせください。

リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください。(リクエストは随時受付中です)

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入します。

6月の投票期間は6月4日(月)～6月21日(木)

学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？



【場所】北館2階ラーニングcommons

【時間】16:30～19:00の該当時間

※実施日時は、図書館ホームページやラーニングcommonsなど図書館の掲示でお知らせしますので、最新情報を確認してください。どんどん利用してください！

児童書コーナー (南館1階)



学生による絵本のよみきかせ

◆6月4日(月) 14:00～14:15

「くんくん いいにおい」ほか

◆6月18日(月) 14:00～14:15

「だるまさんの」ほか

今月の絵本カード (学生作)

『おまえ うまそうだな』

出版社：ポプラ社

作・絵：宮西 達也



※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

【告知】企画展示室 (北館1階)

知ることからはじめよう。LGBT パネル展

6月25日(月)～7月20日(金)

※最終日は16:00迄

学生の企画による展示です。ぜひご覧ください！

教育資料館 まなびの森ミュージアム

「今月の逸品(6・7月): 京都学芸大学要覧」

※隔月での展示替えとなります。

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひ教育資料館へ来てくださいね！



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **藤岡 秀樹** (教育学科 教授)

キャリア・カウンセリングとキャリア発達理論 —現状と課題—

藤岡 秀樹

京都教育大学紀要. 2018, No. 132, pp. 47-61.

カウンセリングの源流の1つが職業指導であることは、あまり知られていません。キャリア教育についても、進学指導や職場体験実習に矮小化されたり、なんとなく「胡散臭い」と思っている教師も少なからずいます。2000年代に入り、従来の進路指導よりも発展的・包括的な概念を含むキャリア教育に転換されました。大学の教職課程コアカリキュラムでは、「進路指導の理論及び方法」(1単位以上)に、「カウンセリングとしての指導」が必須の項目になり、「キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法を説明することができる。」が到達目標に挙げられ、キャリア・カウンセリングの重要性が高まっています。

そこで、本論文では、国内外のキャリア・カウンセリングの代表的な技法とキャリア発達理論を紹介しました。

取り上げたキャリア・カウンセリング(以下「C.C.」と略記)技法・理論は、特性因子論的C.C.、精神分析的C.C.、来談者中心的C.C.、行動主義的・認知論的C.C.、発達論に立脚するC.C.、意志決定理論に立脚するC.C.、構成主義的C.C.の7つです。それぞれの技法・理論の特徴を概説し、課題や学校での活用の有効性についても少しだけですが、触れてみました。執筆を通して、C.C.には、多数の技法が開発されてきたことを改めて確認することができましたが、紙幅の都合上、概要を紹介するに留まりました。興味のある方は、原著に当たられることをお勧めします。

筆者としては、特性因子論的C.C.がもっとも有効性があると考えますが、他の学派の技法も必要に応じて取り入れる折衷主義がよいと思います。

文部科学省(2010)の『生徒指導提要』でも、従来型の治療的教育相談から発達促進的・開発的教育相談への転換が提起され、発達促進的・開発的教育相談の例として、キャリア・カウンセリングが挙げられています。しかしながら、国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター(2013)の実態調査では、小学校の担任のC.C.の実施率が僅か4.7%に留まっています。カウンセリングを心の悩みのあるクライアントへの対応と狭く捉えていることが一因だと思います。教職課程の授業内容の充実や教員研修の改善が求められるところです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 132号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>でもご覧ください。

『生徒指導提要』文部科学省
教育図書, 2010年
ISBN: 9784877302740
配置場所: 大型 西館2階
請求記号: 375.2||MO 31

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2018年6月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

6/1 創立記念日

2018年7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

7/4 館内整理日

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード→)

<http://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.213(2018年6月号)

発行日:平成30年6月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

